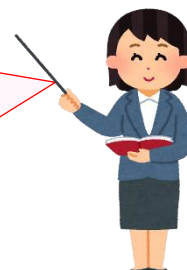


気仙沼市の取組紹介

気仙沼市版アプローチカリキュラム P43
津谷小学校区取組 P44～
面瀬小学校区取組 P46～

Q1 保幼小接続期カリキュラムの活用について取り組んでいますか？

平成30年度に市内の公立・私立の幼児教育・保育施設が協力して「気仙沼市版アプローチカリキュラム」を作成しました。各施設では、それぞれの施設に合わせて自園化して活用し、小学校でもアプローチカリキュラムからつながる形でのスタートカリキュラムを作成しています。



Q2 参考とした取組はあったのですか？

高知県のアプローチカリキュラムを参考としました。また、幼保小連携事業に積極的に取り組んでいる市内の津谷地区、面瀬地区の取組を参考にして、共通様式をつくりました。

Q3 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

各施設の担当者が「気仙沼市版アプローチカリキュラム」をもとに、それぞれの施設の実態に合わせて作成しています。幼保小が連携して共通のカリキュラムを作っている小学校区や、幼保小で共通部分をつくり、その他の部分を各幼児教育施設で作成している小学校区があります。

Q4 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

- アプローチカリキュラムの内容は、あくまでも目安であるので、保育者として実際に子供がどのような興味・関心をもっているかに着目し、個別の状況に配慮しながら柔軟に対応するようにしています。（幼児教育施設）
- 毎年1回目の幼保小連携会議で担当者が顔合わせや情報交換を行って、1年間の事業計画を立てています。就学前の引継ぎ会では、1年間の反省を行い、次年度に生かしています。（小学校）

Q5 取組の成果はいかがですか？

幼保小連携会議で各施設のカリキュラムを確認し、1年間の見通しをもつことで、連携事業をスムーズに実施することができました。また、コロナ禍であってもできる方法を相談するなど、よりよい連携事業を目指すことができました。幼児や児童も見通しをもって活動することができ、意欲や意識が高まりました。

市内の公立・私立の幼児教育・保育施設の職員が集まり組織した「アプローチカリキュラム作成委員会」によって作成されたアプローチカリキュラムです。このモデルがあることにより、各施設はそれぞれの実態に合わせてアプローチカリキュラムを作成することができます。

幼保小接続期カリキュラム（気仙沼モデル）

アプローチカリキュラム		スタートカリキュラム
<<保育所・幼稚園>> < 幼児期の終わりまでに育ってほしい子どもの姿 > ●自分のやりたいことに向かって心と体を十分に動かし、自ら健康で安全な生活を作り出そうとする ●いろいろな活動や遊びにおいて、自分の力で最後まで取り組み満足感や達成感を持つ ●相手の話を聞いて分かちあふり、相手の思いや考えなどを相手に分かるように伝えようとする ●友達とのかかわりを通して、心を通わせながら一緒に遊びを進めようとする ●共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして力をあわせてやりとげようとする		<<小学校>> ●主体的に学ぶ ●学習意欲がある ●コミュニケーション能力がある ●自分や友達の良さに気付く ●思いや願いを持つことができる
育 て た い 力 (三 つ の 芽 生 え)	生活する力 (健康な生活) ・好き嫌いをなく、みんなと一緒に食べることを楽しむ ・安全に注意しながら、十分に体を動かす心地よさを味わう (生活への適応) ・生活習慣を身に付け、行動する ・遊んだものや場所をかたづける (心身の自立) ・時間的見通しをもって生活する ・自分から取り組んだことをやり遂げようとする	生活の自立
	かかわる力 (人とのかかわり) ・友達に思いやりをもって接し、仲良くする ・園内外の様々な人と交流し、親しみをもつ (きまりを守る) ・生活や遊びの中で、自分たちのきまりを守ろうとする ・みんなで使う物を譲り合ったり、大事に扱ったりする (言葉で伝え合う) ・友達と一緒に行動し、気持ちを共感する ・自分の思いを相手にわかるように伝え、相手の思いを聞いてわかるようにする	精神的な自立
	学びの力 (豊かな体験) ・考えたことを試したり、工夫したりする (豊かな表現) ・生き物への愛着を感じ、生命をたいせつにする ・わからないことや知りたいことを聞いて理解する (文字、数への感覚) ・自分の考えやイメージをかいたり、作ったり、歌ったりして表現する ・絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わう ・遊びの中で数や量を比べたり、多様な形に興味をもったりする	学びの自立

育てたい力をもとにしたアプローチカリキュラム

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	スタートカリキュラム
ね ら い	テーマ	みんなで力をあわせる		友達と共通の目的をもって活動する		小学校の生活や学習に興味をもち、自分の成長を感ずる		入学前の不安を和らげる			
	子どもの姿	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する	友達と協力する
環 境 構 成 ・ 援 助	生活する力	健康	生活適応	心身自立	生活する力	生活する力	生活する力	生活する力	生活する力	生活する力	生活する力
	かかわる力	かかわり	きまり	伝える力	かかわる力	かかわる力	かかわる力	かかわる力	かかわる力	かかわる力	かかわる力
	学びの力	体験	表現	文字・数	学びの力	学びの力	学びの力	学びの力	学びの力	学びの力	学びの力
	連携	幼保小	保育・学習生活相互理解	幼保小	幼保小	幼保小	幼保小	幼保小	幼保小	幼保小	幼保小
地 域 ・ 家 庭 ・ 支 援	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣
	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消	不安解消
主 な 活 動 ・ 行 事	ごっこ遊び	お祭りごっこ	運動会ごっこ	お店屋さんごっこ	ハロウィンごっこ	発表会ごっこ	お正月ごっこ	学校ごっこ			
	体験活動	ブル活動	郵便教室	学児会まつり	地域世代間交流		郵便ごっこ	一日体験入学	学区内保交		
	見学活動	収穫体験	収穫体験	学芸発表会	職訪問	花苗植え	冬野菜収穫	学芸発表会	図書館見学		
	園行事	運動会	運動会	秋の遠足	生活発表会	クリスマス大会		学芸発表会	ひなまつり		
訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練	

小学校のスタートカリキュラムに接続

津谷小学校区アプローチカリキュラム

気仙沼市版のアプローチカリキュラムを参考に、津谷小学校区の津谷幼稚園、津谷保育所がそれぞれアプローチカリキュラムを作成しました。市の幼児教育コーディネーター・アドバイザーが施設訪問時にアプローチカリキュラムの見直し支援を行っています。

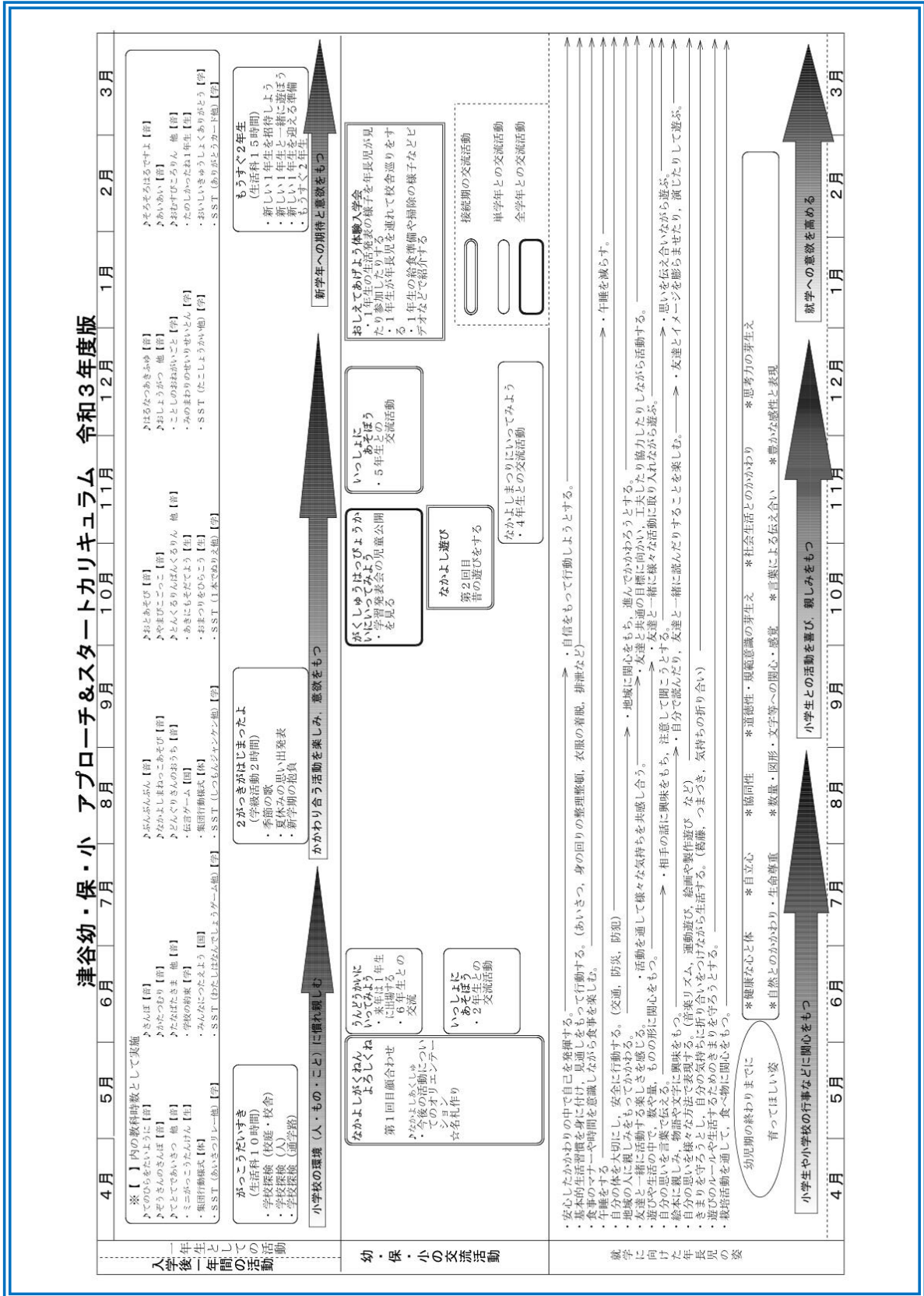
		第1期			第2期			第3期			第4期			スタートカリキュラム
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4月(1年生)
小学校	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の交流活動についてオンラインセッションを行う。 小学校の運動会「来校日(1年生)」の開催に参画する。 学校まで徒歩通園に慣らし、安心して通園できるようにしていく。 運動会では小学生向けの観覧席や応援、入場式や表彰式に合わせた声かけたりしながらお互いを楽しめるようにしていく。 1年、2年、3年生は先生の交流を通して自分より小学生に慣れさせよう。 「なかつまつり」等の行事に参加し、その楽しさや安心感を味わいながら通園させる。 												
幼児期の終わりに備えてほしい		<ul style="list-style-type: none"> ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④遊戯性・想像力豊かな生活 ⑤社会生活との関わり ⑥言葉による多様な表現 ⑦自信と誇りや自己肯定感 ⑧喜怒哀楽の表現 ⑨思いやりや思いやりがけの表現(お礼) ⑩決断力や責任感(決断力) ⑪自己決定力 ⑫自己肯定感(自己肯定感) ⑬思いやりや思いやりがけの表現(お礼) ⑭決断力や責任感(決断力) ⑮自己決定力 ⑯自己肯定感(自己肯定感) ⑰思いやりや思いやりがけの表現(お礼) ⑱決断力や責任感(決断力) ⑲自己決定力 ⑳自己肯定感(自己肯定感) 												
育てたい力(三つの力)		生活する力		<ul style="list-style-type: none"> 生活の自立 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ① 生活に必要な道具や方法を自分でつくる。(生活環境) ② 自分で生活環境を整えたり、身のまわりの世話をする。(生活環境) ③ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ④ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑤ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑥ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑦ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑧ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑨ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑩ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑪ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑫ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑬ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑭ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑮ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑯ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑰ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑱ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑲ 自分自身や他人の安全を守り、身のまわりの安全を守る。(生活環境) ⑳ 										
		人とかかわる力		<ul style="list-style-type: none"> 精神的な自立 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ① 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ② 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ③ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ④ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑤ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑥ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑦ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑧ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑨ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑩ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑪ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑫ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑬ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑭ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑮ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑯ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑰ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑱ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑲ 自分の気持ちを伝えることができる。(生活環境) ⑳ 										
		自ら学ぶ力		<ul style="list-style-type: none"> 学びの自立 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ① 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ② 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ③ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ④ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑤ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑥ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑦ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑧ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑨ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑩ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑪ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑫ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑬ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑭ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑮ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑯ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑰ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑱ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑲ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑳ 										
				<ul style="list-style-type: none"> 創造 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ① 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ② 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ③ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ④ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑤ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑥ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑦ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑧ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑨ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑩ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑪ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑫ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑬ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑭ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑮ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑯ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑰ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑱ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑲ 自分の生活環境を自分でつくる。(生活環境) ⑳ 										

育てたい力をもとにした具体的なカリキュラム 2 津谷幼稚園

月	I期(4~7)	II期(8~9)	III期(10~12)	IV期(1~3)	4月
テーマ	ひとと大きくなった	みんなで力をあわせる	友達と共通の目的をもって活動する	友達と力をあわせる	小学校の生活や学習に慣れ、自分の成長をもちも、小学校への期待を高める 感じる
ねらい	情緒豊かな情緒的になる 情緒や感情のあることと関係 築くこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと	情緒豊かな情緒的になる 情緒や感情のあることと関係 築くこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと	情緒豊かな情緒的になる 情緒や感情のあることと関係 築くこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと	情緒豊かな情緒的になる 情緒や感情のあることと関係 築くこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと	情緒豊かな情緒的になる 情緒や感情のあることと関係 築くこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと、楽しむこと
幼小連携	幼児・学習 生活 相互理解	幼児・学習 生活 相互理解	幼児・学習 生活 相互理解	幼児・学習 生活 相互理解	幼児・学習 生活 相互理解
保護者、地域と	基本的生活習慣 育児理解 不安解消	基本的生活習慣 育児理解 不安解消	基本的生活習慣 育児理解 不安解消	基本的生活習慣 育児理解 不安解消	基本的生活習慣 育児理解 不安解消
主な活動・行事	おうちごっこ 体操活動 見学活動 園行事	おうちごっこ 体操活動 見学活動 園行事	おうちごっこ 体操活動 見学活動 園行事	おうちごっこ 体操活動 見学活動 園行事	おうちごっこ 体操活動 見学活動 園行事
月	4月~7月	8月	10月	11月	12月

	気仙沼市津谷保育所											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児-5歳児	<ul style="list-style-type: none"> 〇幼児の発達支援 〇個別の発達支援 〇共同の発達支援 〇個別の発達支援 〇共同の発達支援 〇個別の発達支援 〇共同の発達支援 〇個別の発達支援 〇共同の発達支援 〇個別の発達支援 〇共同の発達支援 〇個別の発達支援 〇共同の発達支援 											
生活	<ul style="list-style-type: none"> 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 〇生活習慣の確立 											
運動	<ul style="list-style-type: none"> 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 〇運動遊びの充実 											
食育	<ul style="list-style-type: none"> 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 〇食育活動の推進 											
学習	<ul style="list-style-type: none"> 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 〇学習活動の推進 											
行事	<ul style="list-style-type: none"> 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 〇行事の開催 											
幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 〇幼小連携の推進 											
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 〇保護者との連携 											

「小学校入学後の1年間の活動」と「幼・保・小の交流活動」「就学に向けた年長児の姿」を1枚にまとめています。小学校区での幼児・児童についての情報交換と接続に関する話し合いを重ね作成することにより、幼・保・小のそれぞれの活動の関わりを理解することができます。



面瀬小学校区アプローチカリキュラム

気仙沼市版のアプローチカリキュラムを参考に、面瀬小学校区の葦の芽星谷幼稚園、岩月保育所がそれぞれアプローチカリキュラムを作成しました。市の幼児教育コーディネーター・アドバイザーが施設訪問時にアプローチカリキュラムの見直し支援を行っています。

R3年度 葦の芽星谷幼稚園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
ねらい	・みんなの力を合わせる					・共通の目的をもって活動する					・小学校の生活や学習に興味を持ち数字への意欲を高める				
	・友達と協力する		・友達と工夫して遊ぶ		・生活や遊び意欲的に取り組む										
こどもの姿	・集団生活の決まりを守る			・役割と責任をもつ			・達成感を感じる			・学校訪問や体験を通して期待を持つ			・数字に向けて集団生活の決まりを守る		
	・相手の話を聞く			・めあてを共有する			・小学校生活を知る			・健康的な生活リズムを作る					
生活する力	・のびのびと体を動かす心地よさを味わいながら、健康の大切さがわかり、うがい・手洗いを進んで行えるようにする。 ・安全に対する意識を高められるようにする。 ・使ったものや場所を整える心地よさを感じ、自主的に片付けしやすいうんぬんを整える。 ・体験を通して様々な事に興味をもてるようにする。 ・やり遂げた達成感を味わい自信につながるようにする。														
	・自分で衣服の調節や身支度ができる。 ・時間を意識し、見通しをもって生活できるようにする。 ・一定時間内で食事ができるようにする。(マナー)														
かかわる力	・友達の良さを認め、一緒に活動する喜びを味わえるようにする。 ・自信を持って生活出来るようにしたい。 ・友達と協力して、共通の目的に向かってやり遂げられるようにする。														
	・遊びや生活の中で、ルールや決まりに気が付かせようとする気持ちももてるようにする。 ・自分の思いを相手に伝えられるようにする。 ・友達や周囲の人の話を聞き、その思いを受け止められるようにする。														
学びの力	・様々な体験活動から好奇心を養うと共に、生命の尊さに気づくようにする。 ・学校行事への参加や交流会等を通して、学校への親しみをもたせていく。 ・季節の歌や年齢に適した歌を友達と一緒に楽しく歌えるようにする。 ・遊びや生活の中で感動を共有し、友達と一緒に考えながら表現を楽しめるようにする。 ・音楽に親しみ、リズムや楽器遊びを楽しむ。 ・遊戯遊びから表現する楽しさを味わう。 ・絵本や物語を多く取り入れ、想像する楽しさを味わえるようにする。 ・日常の生活の中で、文字や数字に触れられる環境づくりをする。														
幼保小連携	保育・学習生活 ・(5月)運動会 組合理解 ・連携会議					(10月) (11月) (12月) ・(園圃フェスティバル) ・(おもせっこまつり) ・(給食体験)			(2月) ・一日入学、説明会 ・小学校への引継ぎ連絡会、連携会議						
家庭との連携	基本的生活 ・基本的生活習慣の定着に向け、家族との共通理解を図る。 ・就学に向けて生活習慣を再確認し、保護者との連携に取り組む。														
	保育理解 ・毎月園だよりを配布、各行事のクラス便りを配布して伝える。 不安解消 ・地域との交流(階上地区フェスティバル) ・個人面談での相談、就学時健康診断への心配りを聞く。														
主な活動・経緯	ごっこ遊び ・ままごと ・お庭園さんごっこ 体験活動 ・(プール活動)(5月~10月) ・(地域のフェスティバル参加) 小学校への体験活動 栽培活動 ・直植え活動(サツマイモ) ・収穫体験(サツマイモ、りんご狩り)														
	園行事 ・園外保育 ・夏祭り ・運動会 ・修学旅行 ・七五三詣り ・もちつき ・豪華リズム発表会 ・豆まき ・ひな祭り ・直植え ・内科、歯科、眼科検診 ・体育参観へ変更 ・遠足 ・保育参観 ・お遊戯会 ・クリスマス会 ・(園庭、体育館前) ・保育参観 訓練 ・避難訓練 ・幼年消防 ・避難訓練 ・避難訓練 ・避難訓練 ・避難訓練 ・幼年消防修了式														

令和3年度 アプローチカリキュラム

気仙沼市立岩月保育所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1年生4月
< 幼児期の終わりにまで育ててほしい子どもの姿 > ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。 ・いろいろな活動や遊びにおいて、自分の力で最後まで取り組み、満足感や達成感をもつ。 ・相手の話を聞いて分かったり、自分の思いや考えなどを相手に分かるように伝えようとする。 ・友だちとかかわりを通して、心を通わせながら一緒に遊びを進めようとする。 ・共通の目的を持って話し合ったり、役割を分担したりして力を合わせてやり遂げようとする。													
課題	・話を聞いてその内容に対し反応する力が弱く、自分の心情を伝えるのが苦手である。 ・生活の中で「もの」に名前があることへの気付きが少ないためか語彙数が乏しい。 ・食への関心が低く、食材や料理名が分からない。美味しく楽しめながら食べるとともに集中して食べることへの工夫が必要である。												
	生活する力 ・安全に注意しながら、十分に体を動かす心地よさを味わう。 ・生活習慣を身に付け、時間的見通しをもって生活する。 ・自分から取り組んだことをやり遂げようとする。												
育てたい力	かかわる力 ・所内外の様々な人々と交流し、親しみをもち、生活や遊びの中で、自分たちのまじりを守ろうとする。 ・自分の思いを相手に分かるように伝え、相手の思いを聞いて分かってもらう。												
	学びの力 ・考えたり試したり、工夫したりする。 ・わからないことや知りたいことを聞いて理解する。 ・生活や遊びの中で文字や数にふれ、興味や関心をもつ。												
環境構成	・ことばあそびを取り入れることで、「もの」の名前に気付きことば数を増やす。また小さなプレッシャーを与えながらその達成感を楽しむ。 ・集団ゲームあそびを意欲的に取り入れ、ルールを理解し自分で考え、行動できるようにする。 ・生活の様々な場面で体験を整えるあそびを行い、転びやすい子どもや自閉傾向のある子どもの体に働きかける。 ・自分の経験したことや考えたことなど自由に表現したり、友だちの話を聞く機会を設ける。(1分間スピーチ) ・一日の流れや時間を意識しながら生活できるよう、時計や絵カード(ハネル)を活用する。												
行事	〇入所式 〇個人面談 〇七夕会 〇お弁当参観 〇夏まつり会 〇幼年消防クラブ入会式(花火指導)												
食育	〇生活発表会 〇秋の遠足(給食体験) 〇クリスマス会 〇お別れ会 〇総合避難訓練 〇退所式 〇豆まき会 〇ひな祭り会 〇お遊戯会 〇避難訓練 〇幼年消防クラブ修了式												
生活	※毎月実施・避難訓練、体重測定、誕生会(お楽しみ会) ※年2回実施・内科・歯科健診 ・「手洗いのつた」「夏の日3色」「おはしの持ち方」「食事のマナー」などテーマを決め、毎月「食育の日」を設定する。 ・給食センターを見学しながら、学校給食を体験する。(牛乳パックのたため方や配膳の仕方を知る) ・菜園で様々な野菜を栽培することから、その生長を喜び野菜への関心を高める。 ・自分の身のまわりのことは自分で出来るようにする。(身のまわりの整理・雑巾の拭き・靴の履き方など) ・ひらがなで興味を持ってあそびを取り入れることで、自分の名前が書けた時計を意欲しようとする。 ・自分の体を友だちに見えないように着替えるなど、羞恥の気持ちを抑える。(プールあそびの際は、ラップタオルを使用する) ・生活の見通しをもって過ごせるよう、排泄や次の活動をスムーズに行う。												
幼保小連携	〇指導主事訪問授業見学 〇言葉の発達検査 〇数字時障 〇面談フェスティバル 〇リハール見学 〇一日体験入学 〇引き継ぎ会												
家庭との連携	・個人面談など保護者と話し合う場を設け、就学への不安や心配事を解消する。 ・必要に応じて各関係機関を紹介したり、仲介役となる。												
関係機関との連携	・すこやか保健師、支援学校(ひまわり相談・ことば相談)等と連絡を取り合い、相談や情報交換を行うことによりスムーズな就学を目指す。												

小学校のスタートカリキュラムに接続

地区の幼保小連携担当者会議で幼・保・小の担当者による話し合いを行い、小学校の教育計画の中に幼・保・小連携を位置付けています。

面瀬小学校 幼・保・小連携

目指す児童像 支え合う	アクションプランⅢ つながり支える「学習環境」
-------------	-------------------------

昨年度からの変更点	・調理場の変更等を踏まえ、昨年度の実施計画を見直した。
-----------	-----------------------------

1 目的

幼稚園・保育所等の幼児と本校児童との交流活動を通して、上級生としての自覚を高めると共に、幼児の実態を把握し、幼児教育から小学校への円滑な接続を図る。

2 方針

幼稚園・保育所等の情報交換、交流等を充実させ、連携強化及び円滑な接続を図る。

3 指導の重点

学びの連続性を踏まえ、意図的・計画的な指導を行う。

4 活動内容

昨年度の実施内容を基にした活動案とする。詳細については、1年生担任が「面瀬地区幼・保・小アプローチ&スタートカリキュラム」により計画し活動をする。

月	主な活動内容(例)
4月	・担当者会議 葦の芽星谷幼稚園、岩月保育所の担当者と情報交換をし、年間交流活動について話し合う。
5月	・「運動会に招待しよう」 4年生が運動会への招待状を書き、葦の芽星谷幼稚園と岩月保育所に届ける。
6月	・「わくわくまちたんけん」2年生の町探検で訪問をする。
10月	・「面瀬フェスティバルに招待しよう」 3年生が面瀬フェスティバルの招待状を作成し、幼稚園・保育所へ届ける。
10月末	・給食試食会（修学旅行、野外活動、親子料理教室等の時に合わせて実施） 5年生が出迎えと見送り、配膳片付けの手伝いをする。 1年生が給食の準備や片付けの仕方を教え、一緒に会食をする。
11月末	・「お祭りに招待しよう」 1年生活科で実施するおまつりへ招待する。
2月	・体験入学、保護者説明会 入学児童保護者説明会の午前中に一日入学を行い、1年生が学校生活のことを教える。 ・新入学児童引き継ぎ

5 その他

- (1) 学区内の岩月保育所、葦の芽星谷幼稚園を中心としながら、一日入学は次年度入学児童がいる市内の幼稚園、保育所等へも案内する。
- (2) 渉外は教務主任が担当する。
- (3) 幼稚園、保育所等へは、幼保小連携活動として「面瀬地区幼・保・小アプローチ&スタートカリキュラム」により、令和2年度は令和2年9月28日に担当者会議をし、年間の交流活動について確認をした。令和3年度は年度初め（1学期中）に担当者会議を設定する予定。
- (4) 幼保小連携担当者が双方の参観日に、園児や1年生の様子を参観してもよい。参観日の案内を出す。